



ごあいさつ

東京都知事 小池 百合子

第21回東京都障害者スポーツ大会が、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会と東京都の共催により、開催できますことを大変嬉しく思います。

本大会は「身体」「知的」「精神」の3つの部門で競技を行う、都内最大規模の障害者スポーツの祭典であり、障害のある人がスポーツを通じて自らの体力の維持増進、社会への参加及び相互交流の促進を図ることで、その自立促進とスポーツ振興に寄与することを目的として開催しております。

選手の皆様が、本大会への出場を契機として活躍の場を広げるとともに、他の選手との交流を通じて、競技生活がより豊かなものになることを願っております。また皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮され、10月に鹿児島県で開催される第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への出場を目指して頑張ってくださいと思います。

東京都は、世界で初めて2回目の夏季パラリンピックを開催する都市として、大会の成功はもとより、大会後も障害者スポーツが地域に根付くよう、障害者スポーツの理解や普及の促進に加え、スポーツ施設のバリアフリー化や身近な地域での場の拡大など裾野の拡大に向けて様々な取組を行っております。障害のある人もない人もスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」を目指し、今後も積極的に施策を展開してまいります。引き続き皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本大会の開催に御尽力いただいた関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本大会の成功が障害者スポーツの一層の発展につながることを祈念し、挨拶いたします。



ご挨拶

公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
会長 白石 弥生子

第21回東京都障害者スポーツ大会が関係の皆様のご協力のもと、このように盛大に開催されますことに対しまして、主催者の一人として心から感謝申し上げます。

第21回東京都障害者スポーツ大会は、10月に開催されます第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への派遣選手選考会を兼ねており、毎年多数の選手が参加する、都内最大の障害者スポーツ大会です。

昨年の全国大会「いきいき茨城ゆめ大会」では、台風19号の影響で全国大会初の全競技中止となりました。参加を予定していました選手の皆様には悔しい思いをさせまして残念でした。

今年のかごしま大会では、日頃の練習の成果を存分に発揮し、参加されることになった選手の皆様の活躍を期待しております。

さて、今年は7月24日から東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される予定が延期となりましたが、連日のようにマスコミ等でも障害者スポーツの記事が取り上げられ、障害者スポーツに対する関心が大いにたかまっております。当協会としましても、このような機会を活用し、東京2020オリンピック・パラリンピック以降も見据え、多くの都民に障害者スポーツを知ってもらい、障害がある人ない人誰でもが、「いつでも、どこでも、いつまでも」身近な地域でスポーツができる環境整備に、東京都と一体となって一層努めてまいります。今後とも変わらぬご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

終わりに、本大会のために多大のご支援をいただきました大勢の方々に対しまして心より感謝申し上げますとともに、重ねて選手の皆様のご健闘を祈念しまして挨拶といたします。



ごあいさつ

特別区長会会長

江東区長 山崎孝明

第21回東京都障害者スポーツ大会の開催を心からお慶び申し上げます。

この大会は、5千名を超える選手が参加する、国内最大規模を誇る「障がい者スポーツの祭典」であります。今回で第21回目を迎える本大会は、さまざまな障がいを乗り越えて活躍されている選手だけでなく、ボランティアの皆さんも含めた多くの関係者が集い、年々大きな輪となっております。

本大会の開会式が東京を代表するスポーツ大会として伝統のある「都民体育大会」と合同で開催されることは、障がいのある人とない人がお互いのスポーツ競技への理解をより一層深めることにつながり、すべての人がスポーツのもとで、ひとつの大輪となり発展していく象徴だと思っております。

さて、オリンピック・パラリンピック2020大会が延期となりましたが、特別区長会が23区一丸となって大会の成功に向け様々な活動を行っていく姿勢に変わりはありません。

今後、パラリンピアン育成や障がい者スポーツの環境づくり、一般の障がい者スポーツのさらなる普及促進のために取り組むとともに、障がいについての理解を推進するために、こころのバリアフリーについても全力をあげて取り組んでまいります。

令和の時代を迎え、特別区は今後とも、障がいのある方々が、住みなれた地域で安心して末永く質の高い生活を送っていただけるように、障がい者スポーツの振興を含めた障がい者施策の充実に努め、誰もが幸せを実感できる共生の地域社会の実現を目指してまいります。

どうか皆様もスポーツを通して友情と交流を育まれ、連帯と支え合いの輪を地域に広げていただくことをご期待申し上げます。

最後になりますが、本年は新型コロナウイルス感染症への対応など、例年と大きく異なる状況のなか、日々鍛錬を積まれた選手、大会運営にあたるスタッフの方々、諸団体、ボランティアの方々のご努力とご協力に深く敬意を表すとともに、大会の成功と皆様のご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



第21回東京都障害者スポーツ大会開催を祝して

東京都市長会会長

立川市長 清水 庄 平

「第21回東京都障害者スポーツ大会」が多くの皆様のご参加により、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

本大会は、選手の皆様が日頃より積み重ねてこられた練習の成果を存分に発揮される場であるとともに、多くの人々がさまざまなスポーツに親しみ、交流の輪を広げる絶好の機会であります。

国内最大規模の大会として、数多くの参加者でにぎわいを見せているのも、皆様の活躍が障害者スポーツの裾野を広げ、その発展と躍進に大きく貢献していることの現れにほかなりません。

障害がありながら日々努力を重ね競技に打ち込むアスリートの方々の活躍される姿は、多くの人々に大きな勇気と感動を与え、障害者スポーツの魅力をあますことなく伝えてくれることでしょう。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、開催の延期が発表されました。多くの皆様のご支援ご協力のもと、新型コロナウイルスに打ち勝ち、大会を成功に導びけるよう力を尽くしてまいります。そして今回の「東京都障害者スポーツ大会」に選手や役員として参加されている皆様が、東京2020パラリンピック競技大会でも活躍され、障害者スポーツの普及に拍車がかかることを、心より願っております。

東京都市長会といたしましても、活力あふれる共生社会の実現に向けて、障害者福祉のより一層の増進に努めるとともに、障害がある人もない人も共に暮らしやすいまちづくりに向けて、全力で取り組んで参ります。

結びに、本大会を運営されるスタッフ、ボランティアの皆様のご尽力に対し、深く敬意を表しますとともに、選手皆様のご活躍と本大会の成功を心からお祈りしてご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

東京都町村会会長

奥多摩町長 河村 文夫

第21回東京都障害者スポーツ大会が盛大に開催されることを心からお慶び申し上げます。

ところで、全てのアスリートの皆さん、全ての都民の皆さん、私たち町村の行政に携わる町村長を始め職員など全ての国民の皆さんが、心待ちしていた東京2020オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会は残念ながら延期となりました。

この決定は、新型コロナウイルス感染が日本中に拡大し、アメリカやヨーロッパなどでも多くの感染者が発生している中で国際オリンピック委員会（IOC）、東京都及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会などにとっては、苦渋の選択でありました。

しかし、令和3年7月23日からオリンピック競技大会が、8月24日からパラリンピック競技大会がそれぞれ開催されることになり、私たちは、人類の叡智を結集して新型コロナウイルス感染症を克服し、この二つの大会を盛大に開催しなければなりません。

ところで、東日本大震災と原子力発電所事故から9年の歳月が経過いたしました。被災された多くの皆様は、未だに住み慣れた故郷を遠く離れた避難先で、また、平成28年熊本地震など多くの自然災害で被災された皆様も仮設住宅などで不自由な生活を強いられております。

この間、障害者スポーツに取り組む多くのアスリートの皆さんのひたむきにスポーツに打ち込む姿は、こうした被災された皆様に大きな勇気を与えるとともに心の支えとなっております。今後とも、私たちは、東日本大震災などの被災体験を風化させることなく、皆さんと一緒に被災地の復興を応援し、一日も早く被災前の生活に戻ることができるよう応援してまいります。

さて、来年（令和3）には、第16回パラリンピック競技大会及び第32回オリンピック競技大会が開催されます。これまで、パラリンピアンの方が日々、積み重ねてきた努力により東京大会という大舞台でのご活躍を期待いたしております。

第21回東京都障害者スポーツ大会は、障害者が自らの障害を克服して活躍する姿を通じて、多くの皆さんに共感を与えるとともに、勇気と感動を与え、障害者スポーツの魅力を西多摩地域や島しょ地域まで都内全域に伝えることができる大会になると確信いたしております。

東京都町村会は、今後も障害のある方が、住み慣れた地域で安心して生活できる地域社会の構築のため、障害者施策の充実に努め、誰もが幸せを実感できる共生社会の実現に取り組んでまいります。

最後に、本大会の開催にご尽力いただいた多くの関係者やボランティアの方々に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆さんの益々のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。



第21回東京都障害者スポーツ大会に寄せて

公益社団法人東京都身体障害者団体連合会
会長 小西 慶一

国内外での新型コロナウイルス感染症拡大により、東京2020オリンピック・パラリンピックが史上初の延期になった本年、「第21回東京都障害者スポーツ大会」が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

東京2020の開・閉会式、陸上競技等の舞台となるオリンピックスタジアム・新国立競技場が昨年、完成しました。私もオープニングイベントに参加しましたが、500席ある車イス席で介助者と並び、見やすく観戦できる等を確認しました。しかし、一般座席の間隔が狭く、盲導犬の待機スペースは、厳しい状況でした。そして、座席のバネの跳ね上がりが強く、設置のカップホルダーに飲み物が入っていた場合は、注意が必要でした。延期になったとはいえ何れにしても東京2020パラリンピック競技大会は、22競技、540種目が各会場で実施されますが、なんといっても世界初の2度目のパラリンピック開催になりますから、選手の皆様も私達も、その日を日々待ち遠しく、また、楽しみでもあります。

昨年の全国障害者スポーツ大会は台風等で残念ながら中止となりましたが、今年の第20回全国障害者スポーツ大会は、鹿児島県での開催です。全国大会への出場を目指し、その先にあるものを目指して、競技に臨んでください。

年齢の隔たりなく、障害の有無も問わない、誰もがスポーツを楽しめる世の中を目指して、日本のレガシーを残すべく頑張ってください。

リニューアルした東京都障害者総合スポーツセンター並びに東京都多摩障害者スポーツセンターの利用を活用し、より多くの方々にスポーツを通じて、ふれあいを広げてもらいたいと思います。

最後になりますが、今大会の成功を祈念し、大会関係者とボランティアの皆様にご敬意を表して挨拶いたします。



第21回東京都障害者スポーツ大会に寄せて

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
理事長 佐々木 桃子

第21回東京都障害者スポーツ大会が、各競技団体の皆様や関係する皆様のご支援、ご協力を賜り盛大に開催されますことは、知的に障害のある人達を支える団体として大変喜ばしく、感謝の気持ちで一杯です。本当に有難うございます。

選手の皆様、今日の体調はいかがですか？頑張ることはもちろん大切ですが、健康で参加出来ることのほうがもっと大切です。強い日差しを受け、暑さによる熱中症の対策なども必要となることでしょう。水分補給や休養を取るなどしながら、体調を整えることを十分に心掛けてください。

この大会の大きな目的は、参加選手の皆様全員がスポーツの楽しさを感じ、且つ日頃の練習の成果を発揮すること、そしてベストを尽くすことです。ただ、例年同様、今大会も全国大会に参加していただく代表選手の選考を兼ねております。今年の全国大会は、九州の鹿児島県です。

振り返るとここ数年、我が国は自然災害による大きな影響を受け続けてきました。9年が過ぎても未だ爪痕が残る東日本大震災、熊本地震や広島での集中豪雨、北海道胆振東部地震と続き、昨年には台風15号、19号が各地に甚大な被害をもたらしました。皆様が練習を重ねて準備をし、楽しみにされていた茨城県での全国大会も、その影響を受けて中止に追い込まれました。そして今年は、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が来年に延期となる原因となった新型コロナウイルスの蔓延。現在、日本のみならず、世界各国の国々が新型コロナウイルスによる強大な猛威と戦っています。皆様も、健康には十分に留意し、手洗いうがい等の対策を続けながら、この猛威に打ち勝ってください。その先に、皆様の笑顔が鹿児島県に集う全国大会が無事に開催される日が来ることを信じ、心より祈念致します。

最後となりますが、大会を支えて頂いている多くのボランティアスタッフの皆様、ライオンズクラブをはじめとする関係諸団体の多大なるご支援に心より敬意を表し、挨拶の言葉と致します。



第21回東京都障害者スポーツ大会

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
ガバナー 伊賀保夫

第21回東京都障害者スポーツ大会が、多くの参加者のもと盛大に開催されますことをライオンズクラブ国際協会 330-A 地区を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。大会運営にあたり、大会を支えてこられた多くの関係者の皆様に改めて深く敬意を表します。

さて、ライオンズクラブ国際協会は世界で140万人以上の会員を擁する世界最大の奉仕団体であり、330-A（東京）地区では196のクラブからなる6,230名余りのメンバーが、それぞれの地域において様々なテーマで奉仕活動を展開しております。その中で多くのクラブが障害者支援をテーマとして熱心に活動を行っております。

東京都障害者スポーツ大会には、これまで第1回大会より20年間に渡り、様々な形で支援をさせていただいている大きな活動の一つです。330-A地区としましては特別協賛をさせていただいており、特に駒沢オリンピック公園総合運動陸上競技場で開催されます競技に対して支援を続けております。競技に参加される選手の皆様が日頃の練習成果を本大会で十分に発揮するように応援し、表彰式では活躍された選手の方々に声援を送り、ご家族やボランティアの皆様と共に喜びを共有してまいります。

今後とも、本大会が益々盛んとなり、障害者の方々にスポーツを通じて夢と希望を与え、様々な経験の場となりますよう願っております。

結びにあたり、ご家族・介助者・ボランティアの皆様にご感謝申し上げます。本日参加されます選手の皆様のご活躍、関係者皆様のご健勝、そして関係諸団体の更なる発展をご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



ごあいさつ

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
理事長 並木 一夫

第21回東京都障害者スポーツ大会が困難な状況の中、御協力・御賛同を得て盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

本大会は、当事業団が管理運営しております駒沢オリンピック公園総合運動場でも競技が実施されます。日頃の練習の成果を遺憾なく発揮されますよう心から期待しておりますとともに、皆さんの熱戦が繰り広げられることを楽しみにしています。

さて、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本はもとより世界中が、これまでにない困難に直面しております。この状況に鑑み、感染拡大防止の観点から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ、様々なスポーツイベント等が延期または中止となり、スポーツ界に大きな影響が出ていることは言うまでもありません。前例のない未曾有の事態ではございますが、スポーツの持つ力で、この難局を乗り越えることを念願しております。

当事業団は、本大会の成功はもとより、「スポーツ都市東京」の実現に向けた様々な取組に積極的に参画して参ります。その取組のひとつとして、都立の特別支援学校を障害者スポーツの拠点として活用する「都立学校活用促進モデル事業」を平成28年度より実施しており、今年度も規模を拡充して実施いたします。都民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、これまで以上に障害者スポーツの振興に寄与して参りたいと考えております。

最後になりますが、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会並びに本大会実行委員会の皆様方の御努力に敬意を表しますとともに、大会の成功と選手の皆さんの御健闘をお祈りいたします。

ごあいさつ



一般財団法人 東京都弘済会
理事長 中 田 清 己

第21回東京都障害者スポーツ大会が無事開催されますことを、心より祈念いたすとともに、また、開催にあたりましてお慶び申し上げます。

ご承知のとおり、この大会は、障害のある人がスポーツを通じて、自らの体力の維持増進及び社会参加と相互交流の促進、並びに都民の障害者に対する理解の増進を図ることで、障害者の自立促進とスポーツ振興に寄与することを目的として開催されています。

さて、4年に一度の世界的なイベント、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況のもと、国際オリンピック委員会（IOC）の決定により、1年程度延期することとなったところであります。

一方、国内の大会についても、昨年10月に予定されていた第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）の開催が、台風19号接近の影響により中止となりました。

関係者の皆さんの熱きところざしと日頃のご努力を思いますと、まことに残念でなりません。

困難な事態が多発する昨今、東京都弘済会は、安心してスポーツに興じることのできる平穏で安定的な状況になり、各種競技会が無事開催されるよう心から願っています。

そして、この障害者スポーツ大会では、参加された皆さん一人ひとりが、お元気に、練習の成果を遺憾なく発揮されるよう期待しています。

最後に、本大会の運営にあたるスタッフの方々、関係団体及びボランティアの皆さまのご努力に重ねて敬意を表するとともに、大会の成功とアスリーートの皆さまのご健闘を心より祈念しましてご挨拶といたします。



ご 挨 拶

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
会 長 木 村 恵 司

第21回東京都障害者スポーツ大会の開催に当たり、応援のご挨拶を申し上げます。

今回の大会が、新型コロナウイルス感染症の流行による影響を避けざるを得なかったことは残念であります。今年も挙行されることで、スポーツを愛する都民を大いに勇気づけるものと信じております。この大会を契機として、障害者スポーツの興隆に一層寄与するとともに、個々のアスリートが引き続き研鑽を積まれることで、来年に延期となった「東京2020オリンピック・パラリンピック」に繋がる大きな成果を得られることを期待しております。

ネットでは、世界のアスリートが自宅などでもできるトレーニング方法を披露され、話題を呼んでいます。こうした姿には私たちも勇気づけられます。アスリートが見せる躍動感美しく、多くの人々の視線を集めるものですが、競技での結果如何によらず、いきいきと努力する姿勢が、人々を感動させ、挑戦し、前向きに生きていくことの大切さを実感させます。大会にエントリーされたみなさまには、勇気と希望を与えていただけるような活躍と姿を見せていただけるものと期待しています。

私ども東京都社会福祉協議会では、都民が力を合わせながら地域社会の中で安心して暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた取組みを、都民、福祉事業者、自治体など、多くの関係者とともに進めているところです。その取組みの中で、障害のある方の社会参加とスポーツ活動を支援していく所存です。

最後に、あらためて第21回東京都障害者スポーツ大会が成功裏に行われ、みなさまが素晴らしい成果を上げられて、人々に勇気と希望を贈る機会になることを祈念申し上げますとともに、参加される選手や運営に関わるボランティア、さらに運営にご尽力されている東京都障害者スポーツ協会のみなさまの益々のご活躍をお祈り申し上げ、応援の言葉とさせていただきます。